

バビロン(バビロニア)暦とユダヤ暦の年数の数え方

バビロン (バビロニア) 暦とユダヤ暦では年数の数え方が異なる。

バビロン方式では王が即位した翌年から王の治世の第一年として数える。

ユダヤ方式では王が即位した年が王の治世の第一年として数える。→バビロン方式+ 1 年

【参考】

▶バビロン(バビロニア)暦(Babylonian calendar)

バビロニアなどの地域で使用されたメソポタミア地方で発達したメソポタミア文明の太陰太陽暦（月の運行と太陽の運行を基本にした暦法で旧暦ともいう。太陽暦に比べて、一ヶ月が短く、一年が 13 ヶ月になることもある。）である。1 日は日没時に始まり、新月後初めて月が姿を現す日から新たな月が始まる。年の始まりを春分の頃の新月の直後を元日とする。



バビロニア暦の月名はバビロン捕囚の時からユダヤ暦に採用された。

▶ユダヤ暦(Hebrew calendar) : 西暦+3760 年

古代ユダヤで行われた太陰太陽暦の一種。月は新月の日に、年は秋分または春分の頃に始まる。BC3761 年 10 月 7 日を創世紀元とする。

▶宗教暦と政治暦

古代ユダヤには、春から 1 年が始まる**宗教暦**（または「教暦」「新暦」ともいう）と、秋から 1 年が始まる**政治暦**（または「政暦」「旧暦」ともいう）との 2 種類があった。

→ユダ族（南王国）では政治暦を使っていたため、現代のユダヤ暦も秋から 1 年が始まる政治暦に準拠している。

→宗教暦の年始めの月はニサン（アビブ）の月で、太陽暦（グレゴリオ暦）では 3 月から 4 月の時期にあたる。

→政治暦では秋から新年が始まるのでこの月は 7 番目（閏年では 8 番目）のティシュリ（エタニム）の月で太陽暦（グレゴリオ暦）では 9 月から 10 月の時期にあたる。

太陽暦・ユダヤ暦・バビロニア暦

太陽暦	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月	第一の月	第二の月	第三の月	第四の月	第五の月	第六の月	第七の月	第八の月	第九の月	第十の月	第十一の月	第十二の月	
ユダヤ暦	ニサン Nisan, Nissan	イヤール Iyyar	シバン Sivan, Sivan	タムズ Tammuz	アブ Abh, Av	エルール Elul	ティシュリ Tishri	マルヘ シバン Marcheshvan	キスレーヴ Kislev, Kislev	テベツ T'ebheth	シュバツ Shebat	アダ Adar	
バビロニアの月名 (): カナンの古称	ニサン (アビブ)	イヤール (ジウ)	シワン	タンムズ	アブ	エルル	ティシュリ (エタニム)	ヘシュワン (ブール)	キスレウ	テベト	シェバト	アダ Adar	
主な行事		七週間 14~21 逾越祭 (ベサハ) 除酵祭		七週祭 (シャブオツ) 五旬祭 (ペンテコステ Pentecoste)			1 新年 10 大贖罪日 15~21 仮庵祭			25 宮清めの祭			

- ユダヤ暦は、日本の旧暦と同じく、月の満ち欠けを基準に月を決める方式（太陰太陽暦）です。
- ユダヤ暦は、一日が日没（夕方）に始まり、次の日の日没（夕方）に終わります。それは、聖書の創造の記事に「夕べがあり、朝があった」（創世記 1 : 5 他）と記されているからです。
- イスラエルでは普段の生活には、西暦も使っていますが、ユダヤ教の祝祭日や公式行事はユダヤ暦によって決められています。
- ユダヤ暦は天地創造を起点にして数えることになっており、西暦+3760年（西暦よりも3760年長い）となる。